



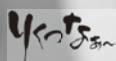
安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK
COOPERATIVE SOCIETY
NEWSLETTER
NO. 28

令和2年3月2日発行

2020.3
第28号

発行 安原工業団地協同組合
〒920-0377
金沢市打木町東1400番地
(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411
FAX (076) 240-1903



“自然の驚異”

安原工業団地協同組合

副理事長 岩上伸人

2020年(令和2年)は、“コロナウイルスさわざい!”で幕を開けました。

中国発の新型ウイルスは猛威を振るい、人の手(力)ではそう簡単に制御できないものがあり、指導者の認識・判断の誤り等により、大きな後れを取るようになってしまったという事実を、我々に突き付けました。

TVは「これ以外のニュースはないのか?」と言いたい位に毎日詳細に報道されていますが、ニュースの中身は「こうだ!イヤああだろう…」といった中身の伴わない、憶測に近い話ばかりが先行しているように思ってしまいます。

でも「どこかみたいに隠すよりは全然まし!!」かと…?

さて、オーストラリアの大火災も人の力ではどうしようもなく、(自然の)大豪雨によって鎮火に向かった…ということでした。また、今年に入って日本では震度3~4の地震が頻発しています。これらを含めて私達は、自然の中に(誤った)手を突っ込んでいるのではないのだろうか?とさえ思ってしまう。

「自国だけでなく地球規模で物事を判断しなければならない。」そういう時代になってきている—と皆がそう思っている筈なのに現状は、自国(自分)優先の指導者・民衆ばかりが目につき(そういった動きが)停滞しているのではないのでしょうか。

SDGsを唱える私達は、バッジを付けるだけでは何も始まらない事を改めて問われているのかも知れません。さあ体を頭を働かせて行動を始めなければ…

この地球を 人を守らねば経済活動はあり得ないのだから…

さて話は変わりますが、私達の安原工業団地が昭和51年にできてから40数年が経ちました。今年1月から第5次の新規予約開始により、総面積は現在の約1.4倍に膨らみます。

会社が増え、社員(人員)も増加し、交通量も大幅に増えることが予想され、益々金沢を代表する工業団地としての地位は揺るぎないものとなっていくでしょう。

金沢は他県の都市に比べて、古くは江戸時代からの生業(なりわい)を基にした中小の企業・商店等が多数存在し、それが「金沢ブランド」の一部となっています。これからも金沢を代表する工業団地として発展していくには、単に規模やムードに流されることなく、どこかに金沢らしさを…そうした心を残して発展していったほしいと思います。

令和2年 新年会

令和2年1月7日(火)、安原工業団地組合と町会の合同新年会が、ホテル日航金沢にて、66名の参加で開催されました。米澤卓也理事長と米澤隆亮町会長から年頭の挨拶の後、塚脇孝司安原地区町会連合会長による乾杯のご発声で宴に移りました。



来賓の山野之義金沢市長と下沢佳充石川県議会議員は公務が重なり到着が遅れましたが、到着の都度祝辞を賜り、二方とも最後まで歓談されました。

今年のアトラクショ

ンは、「劇団 晴れるや」による縁起のよい「七福神マジックショー」で、大黒天や恵比寿に扮して、小槌を振るとお金が出てきたり鯛や鳩も出て、おもしろおかしく大変盛り上がりしました。



楽しい時間は早く過ぎ、羽野芳康次期町会長の中締めでお開きとなりました。金沢市の工業団地拡張も進んでいます。今年は子年、繁栄の年と言われています。組合員、町会の皆様にとって素晴らしい一年になるでしょう。

企業経営動向に関する調査報告

企業経営動向調査を1月に実施し、組合員全181社のうち95社(52.48%)から回答をいただきました。

1月の政府の月例経済報告では「製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、穏やかに回復している」として景気判断を据え置いています。組合の調査結果については、29年度をピークとして下落が強まっていますが、総体としては未だ平均水準を若干上回っている状況であることが窺えます。

前年度調査と比較して売上高減少、採算性悪化の回答がそれぞれ増加し、販売価格及び仕入価格とも落ち着きつつあり、操業度と受注残は低下傾向にあるものの依然として高い水準に

あります。

今後については、受注見通しと景況感の悪化が大きく増加するも、それぞれ良い・普通で過半数を占めています。

また、昇給や新規採用、働き方改革への対応も多く、組合員にて実施されており、設備投資についても約半数の組合員において計画または実施されています。

組合員皆様にご協力いただいたことに感謝するとともに、貴重なご意見を今後の参考として組合活動を進めていきたいと思っています。

新工業用地の整備に伴う市長要望

令和元年11月1日(金)に、米澤理事長と中村、越野、紙本3副理事長が、山野金沢市長に要望書を提出しました。金沢市の新工業用地の整備に伴い懸念される交通渋滞の悪化など組合の皆さんから寄せられた要望事項を、道路の整備、治水対策、分譲価格の項目として取りまとめました。市長からは「新工業団地の整備について万全を尽くすとともに、

組合の要望事項について、真摯に検討し、できるものから対応していきたい。」との回答をいただきました。



新工業団地整備事業 開始

今年度から金沢市において第5次安原工業団地整備事業が開始しました。整備面積は18.0haで、現在の工業団地の4割に相当する面積が新たに整備されます。

この1月には、第1期分譲地6.2haについて分譲予約申込が行われ、市内の企業8社で分譲地の88.4%の分譲予約が確定しました。残り3区画0.73haも3月に追加予約を受け付けています。

新年度早々に開始される造成工事の安全な施工及び要望事項への誠実な対応を市に願っています。

令和元年台風19号被災地 災害ボランティアに参加

(株)佐々木塗装工業の新川基さん(組合理事、女性部副部長)が台風19号(10/10～13)による豪雨災害に見舞われた福島県いわき市へボランティアとして参加されました。

10/22日の夜、知人と会社仲間へ呼びかけ、支援物資を集めて22時に出発し、片道約550キロの道のりを走行。

翌朝、現地に到着し、被災宅の片付けや水害ゴミの分別をした後、支援物資を仕分けのうえ町内へ届け、また550キロを帰ってきました。

ボランティアはしてみたいとは思いますが、中々実現できないのが現実じゃないでしょうか。

ボランティアお疲れ様でした。

大阪 視察研修旅行

本年度の金沢市工業団地連絡協議会との合同視察研修旅行は、当組合より米澤理事長以下6名が参加し10月18日(金)～19日(土)に実施しました。

1日目最初に、門真市のパナソニックミュージアム(松下幸之助歴史館、ものづくりイズム館)を訪問し、「経営の神様」松下幸之助の経営観や人生観を学び、創業以来の歴代製品を見学しました。

その後、インテックス大阪にて業務用食の総合見本市「第7回 ファベックス関西 2019」を見学しました。広大な会場に中食、外食の427社が出席し、開催3日間で約4万人が来場する盛大なものでした。

2日目は、茨木市のヤマト関西ゲートウェイを視察し、巨大な総合物流ターミナルの中で大量の荷物が最新の物流機械でスピーディに的確に仕分けされる様子を見学できました。

帰路には京都伏見稲荷にて商売繁昌・家内安全を祈願しました。

今年の視察は、例年と若干趣が変わっていましたが、道頓堀の夜と併せて充実した視察でした。



第7回 若者交流会

「安原若者組、今から皆さんは人質です・ディスって! あおって! スターティン! スクラム組んで楽しんでトライ!」と



いうとりとめのないお題で木倉町にあるタブリエにおいて、令和元年11月9日(土)に、男女51名での参加で開催されました。今回の目的の一つに、組合員との取引はあるが電話交流しかない、社員さん同士は顔を見たことがないというお話も聞いておりましたので、50歳以下は誰でも参加出来るようにしてみました。

自己紹介(顔写真)を含めた「お名前ビンゴゲーム」で盛り上がりました。

やはり、若者はパワーと活気があり安原工業団地の支えになっていると感じます。

特に、初参加の佐々木理事には盛り上げてくださりありがとうございました。

今後も交流会を通じて仕事への活力、当団地組合員どうしの繋がり・活性化に繋がりたいと思います。

第40回 ソフトボール大会

令和元年9月1日(日)、安原小学校グラウンドにおいて、組合主催町会協賛で開催されました。当日は天候も良く7チーム(内班チーム1)がトーナメント戦で行われ、熱戦が繰り広げられました。

今回も若松梱包運輸倉庫(株)がV6を飾り、大偉業を成し遂げました。

来年は打倒「若松」のチームが参加すればもっと盛り上がるような気がしますね。



第9回 合同ゴルフ大会

令和元年9月16日(月・祝)、組合・町会合同ゴルフ大会がゴルフクラブツインフィールズにおいて開催されました。

昨年同様、ゴールドコースに10組36名が参加され、和気あいあいながらも1打1打真剣にプレーしていました。

敬老の日であるにもかかわらず、まだ若手のステンレス(株)福田さんが優勝し、飛び賞等各賞もあり、大いに盛り上がり、親睦を深めました。



青年部活動報告

9月1日(日)

【ソフトボール大会】

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて第40回ソフトボール大会が行われ、設営、運営をさせていただきました。

企業6チーム、班1チーム、計7チームの参加でトーナメント方式で試合が組まれ、晴天のもとで白熱した試合が展開され、若松梱包運輸倉庫(株)が優勝しました。

9月9日(月)

【研修会】

異業種研修会館にて、前回好評だった飯山眺朗氏を迎え「最強チームをつくる脳の習慣」と題した講演を行いました。前回よりパワーアップした講演内容になり、自己啓発や社員さん向けの人材育成などの一環になったと思います。

9月16日(月・祝)

【第9回安原工業団地組合・町会合同ゴルフ大会】

ゴルフクラブツインフィールズにおいてゴルフ大会及び親睦会が開催され、運営のお手伝いをさせていただきました。10組36名が参加したなか、ステンレス(株)の福田さんが優勝しました。

10月18日(金)、19日(土)、20日(日)

【長崎・福岡視察旅行】

長崎の世界遺産「軍艦島」と博多「ふくやの明太子工場」を視察してきました。

軍艦島では東京以上の人口密度、炭鉱のすごさ、明治日本の産業革命を目の当たりにしてきました。また、明太子工場では、創業者は商標登録もせず製造法特許も取得せずに明太子を広めるとともに、少しでも美味しい明太子を作るため、地元同業者に製造方法を教え、様々な風味の明太子が生み出され博多名物として定着することになりました。私たち企業が成長するための一つのきっかけになった様な気がします。(6名参加)

11月9日(土)

【若者交流会】

木倉町にあるタブリエにて50歳以下の組合員従業員を対象に「第7回若者交流会」を開催しました。今回は今までの男女を結びつけるわけではなく、幅広く組合員に交流をして頂ける様に企画しました。男女51名が集まり懇親会が始まりました。

食事を楽しみながらビンゴゲーム等で大いに盛り上がりを見せ、会社名と自己紹介をしていただき交流を図りました。

12月18日(火)

【青年部忘年会】

平成31年度忘年会を本町「加能漁業 SHION」にて18名の出席で開催いたしました。三島部長の挨拶に続き本保幹事の乾杯の音頭にて会を進め、部員間での情報交換や親睦を図りました。

1月28日(火)

【青年部新年会】

平成31年度新年会を「割烹懐石 新橋こうや」にて15名の出席で開催いたしました。

三島部長の挨拶に続き田中幹事の乾杯にて会を進め、今年度の最後の事業を成功させるとともに、今年も部員間の交流を深め、今後なお一層事業に参加してもらえる青年部活動にしていこうと、堅い結束を図りました。

これをもって今年度は無事終了となりますが、日頃からの組合員皆様のご理解、ご協力のお陰と感謝しております。来年度もよろしくお願いいたします。



女性部活動報告

9月13日(金)～14日(土)

【第1回研修会】

山中温泉「花・彩朝楽」に宿泊し、翌日「ろくろの里 山ぼうし」にてそば打ち体験をし、親睦を深めました。9名参加し、3人1組で説明を聞きながらそばを打ちました。なかなか同じ太さに切るのは大変でした。自分で打ったそばを「ざるそば」にしてもらい、太さがバラバラでしたが、それも味のひとつだと思い、美味しくいただきました。



11月16日(土)

【花いっぱい！飾花推進活動】

幹線道路のプランターに葉ボタンの植え替えをしました。今年は雪も無く元気に育っているようです。春先に長く伸びて黄色い花が咲くのを楽しみにしています。

12月10日(火)

【会員企業にシクラメンを】

毎年恒例になっている、会員企業に色鮮やかなシクラメンを配布しました。クリスマス気分を盛り上げるのに一役かってくれたでしょうか。

12月19日(木)

【中央会女性部活動訪問事業】

～魅せよう！元気で輝く女性力！～がテーマの中央会活動事業に3名参加しました。

今回は能登地区を訪問し、全部で5か所視察してきました。「道の駅 のと千里浜」、宝達志水町「御菓子司たにぐち」を見学し、「寿司割烹かわばた」で名物オムライスを食べ、2015年リニューアルした輪島塗会館で輪島漆器組合婦人会の方々とは意見交換をし、最後に(株)田谷漆器店を見学してきました。

2月14日(金)

【第2回研修会】

ヴィラグランディスウェディングリゾートにて、笑いヨガインストラクターの清水真杉氏を講師に迎え13名参加で講演をしていただきました。ラフターヨガ(笑いヨガ)はインドで出来た笑いの健康体操で、ユーモアやジョークに頼らず理由なしで誰でも笑うことができるエクササイズです。実践しながらストレス解消、免疫システム強化などの効果があることを学びました。



あとがき

世界中が注目した2020「おもてなし」の東京オリンピックが後5ヶ月弱となり石川県勢も川井姉妹、鈴木選手等メダルの期待も益々高まります。重圧に負けないでその一瞬を輝かせて欲しいですね。応援しています。

そして今、新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐ事が急務になっています。熱や咳などの症状が出たら早めに受診しましょう。潜伏期間は、人によって違いますが1日～14日程です。手洗いうがい心がけましょう。

発行責任者 米澤 卓也

編集委員 池野 菊枝、岩上 伸人、金谷 尚次、笠井恵美子
田中 泰、三島 克也、安村 義昭、山口美枝子